

大阪府における臓器移植対策について

大阪腎臓バンク理事
対馬 英雄



移植医療を取り巻く現状をみてみますと、令和5年8月末時点の移植希望者数は、全国で心臓879人、肺553人、肝臓353人、腎臓14,013人、膵臓154人、小腸9人、合計15,961人となっています。対して昨年の臓器移植件数は、合計455件となっており、移植を希望される方のうち、わずか3%程度しか移植医療を受けられない状況です。また、令和3年度の世論調査によると、全国における臓器提供に関心がある人の割合は65.5%あるものの、臓器提供の意思表示率は10.2%と低い水準に留まっています。

大阪府における意思表示率は、府独自の調査で27.5%であり、決して高い数値であるとはいえない状況で、より多くの府民に意思表示を行っていただけるような取り組みが求められています。

このような中、大阪府では、臓器移植対策の施策として、「臓器移植に関する知識の普及」「臓器移植医療体制の確保」「院内移植コーディネーターの届出数増加と資質向上」の3つの目標を掲げています。そこで、本府における臓器移植対策に関する取り組み内容についてご紹介します。

まず、「臓器移植に関する知識の普及」です。本府では、臓器移植に関する正しい知識の普及を図り、臓器提供の意思表示に結びつけるよう、毎年10月の臓器移植普及推進月間を中心に、街頭キャンペーン等の普及啓発活動を行っています。新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年と令和3年は街頭での普及啓発活動を見合わせておりましたが、昨年は2年ぶりに大阪腎臓バンクをはじめとする多くの関係機関と連携し、街頭キャンペーンや地域のイベントで普及啓発グッズや意思表示カードの配布を実施しました。また、昨年は府内2箇所でのグリーンライトアッププロジェクトを通じて、広く府民への普及啓発活動に取り組みました。イベントでの普及啓発活動に加え、府のホームページや広報誌「府政だより」への情報掲載や関係機関へ啓発リー

フレットを送付することで、幅広い普及啓発に努めています。今後も、より多くの方に意思表示を行っていただけるよう、臓器移植に関する正しい知識の普及啓発に努めてまいります。

次に、2点目「臓器移植医療体制の確保」です。本府では、医療機関内における臓器等の移植に関する担当を明確にし、臓器を提供いただく場面で法律やガイドラインを遵守した円滑な実施を図ることを目的に、平成25年2月から「大阪府内における院内移植コーディネーターの設置に関する届出制度」を開始しました。また、大阪府臓器移植コーディネーターによる、定期的な巡回を通して医療機関に対する普及啓発や院内体制整備への働きかけを行っています。大阪府の院内移植コーディネーター設置医療機関数は第7次医療計画策定時の平成28年度では27施設でしたが、令和5年8月末現在では、32施設となっています。今後もさらなる臓器移植医療体制の充実を図るため、大阪府臓器移植コーディネーターと連携し、院内移植コーディネーターを設置する病院の増加に向けて、普及啓発及び院内体制整備の働きかけを行ってまいります。

最後に、3点目「院内移植コーディネーターの届出数増加と資質向上」です。本府では、院内移植コーディネーターの資質の向上を図ることを目的に、研修会を毎年2回実施しています。また、コーディネーター届出数は、平成28年度の109人に対し、令和5年8月末現在では、151人となっています。各施設の院内移植コーディネーターが提供希望者やその家族に対して適切な対応が可能となるよう、研修会の実施により、資質向上を図るとともに、院内移植コーディネーターの設置を検討中の医療機関に対しても、届出に向けた検討の機会として研修会を活用いただくなど、さらなる充実を図ってまいります。

このような取り組みを今後も充実させ、移植医療の推進に努めてまいりますので、皆様のより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(大阪府健康医療部保健医療室地域保健課長)

献腎移植体験記

献腎移植を受けて～9年が経ちました～

腎移植9年/山下 美保
月日が流れるのは早いもので、絶対と言うほど当たらないと思
い込んでいた腎移植の話から、バタバタといきなり候補から移植
が現実の話になり、右から左向いたらもう移植手術が終わって
た！と言う、あれは忘れもしない3月末日の出来事から、もう来
年3月末が来たら、丁度10年目になります。

宝くじより当たらないと当時言われていた私は、移植の登録は
してたものの、完全に他人事になってました。

当時の私はその1か月前の2月に透析生活を丁度20年迎えて
ホッとしてたところでした。

その僅か1か月後に移植の話が来るとは夢にも思わず、それど
ころか、毎年1月から2月と言えば、腎移植の更新手続きの時期。
もう何年も音沙汰のない移植の話に数年前から嫌気が差して、い
つ止めようかと悶々と悩んでいた矢先だったのです。あと数日、
連絡が来なかったら永久に移植の話はなかったでしょう（* *）

あの日、家の母親と姪は海外旅行に出かけており、あの日の夜
に帰宅予定でした。家には家事一切出来ない父親と2人での留守番
だったので、移植の電話が来た時は家の中はいきなりシツチャカ
メツチャカ！

入院用のカバンからなんから探すのも始まり、病院からもコー
ディネーターの方からの電話にもアタフタ、元々、電話対応苦手
な私が短時間のうちにこれまた移植するかどうかと聞かれても、
すぐに答えられず、当時から担当医だった西岡 Dr に、思わず、「先
生、決められへん！」と返事したのを覚えています！

けど、チャンスと思い、寝ている父親を叩き起こして、取りあ
えず最低限の荷物を持って病院に向かいました。病院は当然なが
ら夜中なので、確か採血検査と手術の説明で、後は朝方まで広い
6人以上の入院部屋にポツネンと1人待機する為に入れられ、休
んで下さいと言われても、そこは病院、一睡も寝れませんでした。

翌日、丁度お昼から早速腎移植の手術が始まると言うので、何
だかんだと検査やらしたと思うけど、全く記憶にございません。
持ってきた自分の荷物も後から見たら、あれ足りない、これ足り
ないばかりで余程慌ててたんだと思いました。

手術は全身麻酔なので、麻酔が覚めてからの次の日が大変でし
た。当時、私は仕事をしてましたので、仕事先は当然ながら夜中
はやっておらず、連絡はすっぱか状態、誰が連絡すんねん？と
言ったらアタシしか居ないだろ！で事で全身麻酔か切れたばかり
の、しかも全身管だらけの身体で面会謝絶の個室を良い事に会社
に携帯で電話をし、事情を話し、取りあえず人事課に許可を貰い
ましたが、かなり後になって、話が半分通じたようなそうでない
ような、挙げ句に担当者が会社の異動でいなくなってたから、も
う少して私は無断欠勤扱いにされるとこでした。

で、移植する前に耳にタコが出来た位言われたのは、今回は完
全な献腎移植の為に既に腎機能が余り良くありません、最初から
尿が出るとは思わないで下さい。と言われてましたが、なんと、
術後から奇跡的に尿が出たといわれました。最低でも2～3週間
は出ないと思っておいてと言われてたのにです。

それから、移植後、数ヶ月以内に必ず移植患者がかかると言わ
れた肺炎にも1度もかかりませんでした。

当時は病棟内、インフルエンザやその他の感染症が蔓延してお
り、病棟内をウロチョロすることさえ禁止されていたにも関わら
ずです。

結局、何だかんだと入院生活は2～3ヶ月は続いたような、そ
の間に1か月目に面会謝絶の個室を出て、一般病棟に、でも、身体
にはまだまだ管だらけのままだったので、向かいのベッドに入院
してたオバちゃんは、最初、すごく気の毒に思ってくれてたみた
いで、それが、どんどん私が食欲も出て、ウロチョロするよう
になり、管も段々取れて、元気になっていったのはビックリしたと
いまだに時々、電話をくれては貴方から勇気貰ったと感謝されま
すが、私は何もしてないよ～（≧▽≦）

退院してからは、しばらくは自宅療養でしたが、去年末までは
派遣会社に登録してアチコチ、仕事に行っていました。今年に入っ
てからはさすがにメンタルも少しやられ、身体の方もクレアチ
ンが週一回の仕事に行っても数値が5前後まで跳ね上がるよう
になり、今ではすっかり親のスネをかじる状態になり、でも、アタマ
では仕事しないとは思っているものの、今では半日大型スーパーで遊
んだだけでまた数値が跳ね上がる状態で、復帰はムリかと。毎日、
ノラリタリと過ごすしかありません。

しかしながら、一人カフェ巡りとか趣味を見つけてたまに息抜
きをしながらのんびりと過ごしております。あと1年、あと1年
と自分に言い聞かせながら、これからもマイペースで自分の出来
る範囲で過ごせたら良いなと思います。

令和4年度事業報告・決算の概要

令和4年度の事業活動については、令和3年度に引き続き、コ
ロonavirus感染症拡大に伴う緊急事態宣言発出等の影響で、一
部事業活動の中止、縮小を余儀なくされました。

（事業報告の概要）

1. 腎不全実態調査助成事業

血液透析医療や腎移植医療の実態把握のため、大阪透析研究会
及び腎移植施設連絡会が行った調査・解析研究に対し、それぞれ
年間20万円を助成した。

2. 若手研究者に対する研究助成

令和4年度の研究助成事業も、大学・病院医師・コメディカル
といった様々な所属や移植・透析・CKDといった様々な医療分
野からの申請を一律に審査していた方法を改め、様々な分野の研
究テーマに幅広くチャンスを与えるため、施設・資格、医療分野
ごとに枠を設け、その各々の枠の中で審査を行うこととした。

その結果、19件の申請に対して基礎分野は6件、臨床分野は6件、
コメディカルは1件、疫学分野は1件に対し助成した。

3. 優秀論文に対する褒賞

令和4年3月の第96回及び9月の第97回大阪透析研究会で発
表され、優秀論文選考委員会で選ばれたもの年間8件を表彰し、
褒賞金各5万円を贈呈した。

(1) 第96回大阪透析研究会優秀論文

- COVID-19 院内クラスターに対し多人数の透析患者に隔離透
析を行った経験 (大阪労災病院)
- 安価で簡単にシャント音を保存しよう！ (関西医科大学香里病院)
- 短期型透析用カテーテル (temporary vascular catheter:TVC)
関連血流感染低減に向けての取り組み (一般財団法人住友病院)
- 透析患者に対する BIA 法を用いた位相角の評価 (柏友クリニック)

(2) 第97回大阪透析研究会優秀論文

- 誤嚥性肺炎を発症した血液透析患者に対する干渉波電気刺激
の効果 (井上病院)
- エコー下 VAIVT の補助検査としての非造影 MRA の活用 (井上病院)
- BV プロに Hot Shot I-HDF を併用し血圧安定化に寄与した
一例 (さかいクリニック)
- 新型コロナウイルス感染症で入院した血液透析患者の意思決定支援 (仁真会白鷺病院)

4. 教育研修助成事業

堺市立病院機構に対し助成した。

5. 学会等共催事業

腎・尿路疾患の予防と治療に関する学術研究の推進に寄与する
ため、学会等共催審査委員会で承認された学会及び研究会の共催
事業を実施した。

(1) 学 会

- 第97回大阪透析研究会
R4.9.11 於：大阪国際会議場
主宰 辻本吉広 (井上病院)
- 第98回大阪透析研究会
R5.3.5 於：大阪国際会議場
主宰 繪本正憲 (大阪公立大学)
- 第36回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会
R4.11.10～12 於：神戸国際会議場
主宰 植村天受 (近畿大学)
- 第24回日本在宅血液透析学会・第17回長時間透析研究会
R4.11.12～13 於：大阪国際交流センター
主宰 山川智之 (白鷺病院)
- TSS Asian Regional Meeting
R4.11.25～26 於：京都産業会館
主宰 今村亮一 (大阪大学)

(2) 研究会

- 日本組織適合性学会近畿地方会
代表世話人 芦田 隆司 (近畿大学病院)
- 大阪腹膜透析研究会

会長 林 晃正 (大阪急性期・総合医療センター)

③大阪腎移植病理組織研究会

代表世話人 岸川 英史 (県立西宮病院)

④移植後肝炎研究会

幹事 市丸 直嗣 (近畿中央病院)

⑤慢性腎臓病 (CKD) アウトカム研究会

代表幹事 中西 健 (兵庫医科大学)

⑥大阪骨粗鬆症検診を考える会

会長 稲葉 雅章 (大野記念病院)

6. 普及啓発事業

(1) キャンペーン活動及び啓発資料作成・配布

令和4年10月22日に「すみよし区民まつり」にブースを出展し街頭キャンペーンを実施した。

(2) 患者団体活動助成

患者団体の活動に対し助成を行った。

① NPO 法人大阪腎臓病患者協議会 (大腎協)

② NPO 法人日本移植者協議会 (日移協)

③ 大阪移植の会

④ 大阪腎友会

(3) 勉強会の開催及び機関誌発行等

令和4年12月16日に大阪難病相談支援センターにおいて大阪府と共催で臓器提供に関する研修会及び大阪府院内移植コーディネーター研修会を開催した。

また、OKF ニュースを発行し賛助会員等に配布するとともに、ホームページを更新した。

7. 組織適合検査事業

(1) 検査体制の整備に努めるとともに、検査事業の向上・改善を図るため、日本臓器移植 NW、検査機関、移植施設と意見・情報交換を行った。

(2) 献腎移植希望登録を円滑に行うため、組織適合検査 (HLA 検査、クロスマッチ検査) を当財団の費用負担 (一部、府補助金及び患者負担あり) により、大阪急性期・総合医療 C で実施した。

① HLA 検査 77 件 (うち、患者負担徴収分 73 件)

② 抗体クロスマッチ検査 0 件

8. 大阪府臓器移植コーディネーター事業

(1) 日常活動として、三次救命救急センター、公的病院、民間病院の 17 医療施設を延べ 67 回訪問し、移植推進のための情報交換や普及啓発資料等配布した。臓器提供可能医療機関に対し移植医療の普及啓発を図るため、院内移植コーディネーター設置支援や臓器の提供に関する研修会の開催など提供体制の強化に努めた。また、大阪府、日本臓器移植 NW との連絡調整業務を行った。

(2) ドナー発生時は日本臓器移植 NW の指示により臓器提供を承諾する通報から腎移植に至るまで、腎提供施設・移植施設との連絡調整、組織型の適合した移植希望登録者への連絡、検体・臓器の搬送、ドナー遺族への対応を行った。

(3) 令和4年度における、大阪府内でのドナー情報は 15 件あり、提供に結びついたのは 4 件であった。

<令和4年度 献腎移植実績>

提供：府内 4 件 8 腎、府外 8 件 8 腎

移植：府内 12 腎、府外 4 腎 計 16 腎

Table with 4 columns: 年月日, 提供病院, 移植病院, 備考. It lists kidney transplant cases from May 2022 to March 2023, including donor hospital, recipient hospital, and status (e.g., brain death, heart stop).

(決算の概要)

令和元年以来恒常的な赤字解消のため、事業費の削減、資産運用の効率化に取り組んできた。その成果が徐々に表われ、経常収益は対前年比 928 万円増加し、当期経常増減額は 295 万円余りの黒字となった。この結果、正味財産期末残高は対前年比 1307 万円増加し 2 億 6666 万円となった。

貸借対照表

令和5年3月31日現在 (単位:円)

Balance Sheet table with 3 columns: 科目, 当年度, 増減. It details assets (流動資産, 固定資産), liabilities (流動負債, 固定負債), and net assets (指定正味財産, 一般正味財産).

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで (単位:円)

Statement of Changes in Net Assets table with 3 columns: 科目, 当年度, 増減. It breaks down the change in net assets into operating income, expenses, and other adjustments.

理事・監事等の改選

令和5年5月26日に開催された評議員会で任期満了に伴う理事・監事の選任が行われました。再任された21名の方に加え、大阪市立総合医療センターの浅井利大氏、大阪急性期・総合医療センターの葛原宏一氏、林晃正氏、(社医)愛仁会井上病院の辻本吉広氏、(医)近藤クリニック真美ヶ丘腎センターの吉田克法氏の5名の方が新たに理事にご就任いただき、理事は26名体制となりました。

また、大阪大学大学院の角田洋一氏及び(社医)三上会東香里病院の三上聡司氏が新たに評議員に選任されました。

役員名簿 (五十音順)

役員名	氏名	現職
顧問	高井 康之	大阪府医師会 会長
	秋山 隆弘	(医) 恵泉会堺平成病院 名誉院長
副会長	西澤 良記	(公社) 2025年日本国際博覧会大阪パビリオン 副代表理事
	高原 史郎	(社医) 純幸会関西メディカル腎移植クリニック院長
理事長	山川 智之	(医) 仁真会 理事長
	東 治人	大阪医科薬科大学 教授
常任理事	猪阪 善隆	大阪大学大学院 教授
	稲葉 雅章	(社医) 寿楽会大野記念病院 名誉院長
理事	松田 公志	関西医科大学附属病院 病院長
	浅井 利大	大阪市立総合医療センター腎移植・透析部部長
〃	有馬 秀二	近畿大学 教授
	植村 天受	近畿大学 教授
〃	内田 潤次	大阪公立大学大学院 教授
	大道 道大	社会医療法人大道会 理事長
〃	木村 一尋	株式会社クボタ 専務執行役員
	柴原 伸久	(医) 北辰会天の川病院 理事長
〃	武本 佳昭	大阪公立大学医学部附属病院 教授
	對馬 英雄	大阪府健康医療部保健医療室地域保健課長
〃	葛原 宏一	大阪急性期・総合医療センター 泌尿器科副部長
	辻本 吉広	(社医) 愛仁会井上病院院長
〃	西岡 伯	和泉市立総合医療センター 特任病院長
	野々村 祝夫	大阪大学大学院 教授
〃	林 晃正	大阪急性期・総合医療センター副院長
	松坂 英孝	大阪ガス株式会社 顧問
〃	守山 敏樹	大阪大学キャンパスライフ健康支援センター 特任教授
	吉田 克法	(医) 近藤クリニック真美ヶ丘腎センター院長
〃	山口 誓司	大阪はびきの医療センター 院長
	大野 良興	(社医) 寿楽会 理事長
監事	〃	公認会計士 監査法人トーマツ
	〃	

(顧問1名 理事26名 監事2名)

普及啓発活動の紹介

財団では、10月の臓器移植普及推進月間に合わせ献腎移植の促進を図るため普及啓発活動を行っています。また、患者団体による普及啓発活動を支援するため各団体に助成金を交付しています。

①第49回すみよし区民まつり

10月28日に開催された第49回すみよし区民まつりの会場でブースを設け、大阪府・市や患者団体、支援団体と協力して普及啓発資材の配布を行いました。



②第50回堺まつり

10月14日～15日に開催された堺まつりの会場で普及啓発資材を配るなどして臓器移植の普及啓発に努めました。



③グリーンリボンデー

グリーンリボンデーである10月16日及び17日に府内施設3か所(万博公園太陽の塔、天保山大観覧車、ドーンセンター)を臓器移植医療のシンボルカラーである緑にライトアップしました。

④第29回全国移植者スポーツ大会大阪大会

NPO日本移植者スポーツ協会が主催するもので、移植を受けた人たちのスポーツ大会です。今年は大阪府が開催地となり、10月28日～29日まで大阪府立障がい者交流促進センター(フェイナプラザ大阪)において陸上競技、卓球、バドミントンなど各種競技が実施されました。



⑤臓器移植を受けた子どもたちの作品展

堺市と日本移植者協会大阪支部は堺市役所高層階1階エントランスホールで「臓器移



植を受けた子どもたちの作品展」を毎年開催しています。今年は9月20日から10月3日まで子どもたちの作品を通して臓器移植への理解を深めていただきました。

⑥腎臓病学習講演会

大阪腎友会が主催する慢性腎臓病患者のための学習講演会です。今年は10月8日に西成区民センターで「腎臓病にやさしい食事療法」をテーマに耳原総合病院管理栄養士徳永愛梨先生講演がありました。

学会等共催事業

令和5年9月以降開催の共催学会は下表の通りとなっています。

学会名	開催日時・場所	主宰者(所属)
第99回大阪透析研究会	R5.9.3 大阪国際会議場	浅井 利大 (大阪市立総合医療センター)
第73回日本泌尿器科学会中部総会	R5.10.12～14 奈良県コンベンションセンター	藤本 清秀 (奈良県立医科大学)
第29回日本血液透析濾過医学会学術集会・総会	R5.11.25～26 大阪国際交流センター	長沼 俊秀 (大阪公立大学)
第39回腎移植・血管外科研究会	R6.6.13～14 大阪国際会議場	内田 潤次 (大阪公立大学)

※腎・尿路疾患の予防と治療に関する学会等との共催事業を実施し、寄付募金や経費支払の事務を行っています。令和5年度以降に検討又は計画されている学会等を対象に共催申請のご案内をしています。申請書類・手続等は事務局までお問い合わせください。

事務局だより

1. 税額控除適用法人の証明(継続更新)

当法人への寄付金(賛助会費を含む)については、税法上、各種の優遇措置があります。そのうち、個人からの寄付金に係る所得税に關し、この度、大阪府知事から税額控除適用法人の証明(継続更新)を受けました。有効期間は令和3年8月16日から令和8年8月15日までです。所得税に関する優遇措置には所得控除方式もありますが、一般的には今回認められた税額控除方式の方が減税効果は高くなります。

他の優遇措置として、個人からの場合は大阪府に在住の方は大阪府市民税、大阪府民の方は個人府民税、相続税があり、寄付者が法人の場合は一般寄付金の損金算入限度額とは別に別枠の損金算入限度額が設けられています。

2. 支援型飲料自動販売機の設置について(お願い)

支援型飲料自動販売機設置事業は、自販機の設置者が指定する公益法人に売上金の一部を寄付するもので、飲料購入者の方も飲料の購入を通じて公益事業を支援する制度です。

新しく自販機を設置する場合や交換をお考えの際には是非とも導入いただきますようお願いいたします。ご検討いただける場合は大阪腎臓バンク事務局までご一報いただきますようお願いいたします。

3. 令和5年度教育研修助成事業の申請案内

大阪府に院内移植コーディネーター設置届出を行っている医療機関を対象に、臓器提供に関する教育研修の参加経費について助成を行っています。

対象となる教育研修等の詳細については、事務局までお問合せ下さい。

4. 令和6年の理事会等日程

日時	会議名	備考
1月24日(水) 18:00	常任委員・常任理事会	2月理事会の議題整理
2月21日(水) 18:00	理事会	令和6年度事業計画(案)・収支予算(案)
5月8日(水) 18:00	理事会	令和5年度事業報告(案)・決算(案)
5月24日(金) 18:00	定時評議員会	令和5年度事業報告・決算承認

令和5年11月1日

編集・発行

公益財団法人 大阪腎臓バンク

発行人 高原 史郎

事務局 大阪市北区鶴野町4-11-709

TEL (06) 6377-3000

FAX (06) 6377-3022

URL: <http://www.okf.ecnet.jp>